

## 修正内容一覧

物質ID	物質名	CAS番号	項目	修正前					修正後					備考		
				分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報	注意書き	分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報	注意書き			
22A4001	チオシアニ酸カリウム	333-20-0	水生環境有害性(長期間)	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分3であり、急速分解性がない(BIOWIN)が、魚類(ニジマス)の14日間NOEC(繁殖) = 1.1 mg/L であることから区分外とした。	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分3であり、急速分解性がない(BIOWIN)が、魚類(フナ/レプトミノー)の14日間NOEC(繁殖) = 1.1 mg/L(EGETOC TR91, 2003)であることから区分外とした。	2016.3.22修正
22A4004	炭酸カリウム	584-08-7	水生環境有害性(急性)	区分外	-	-	-	-	甲殻類(ニセネコゼミジノ)の48時間LC50 = 630 mg/L(AQUIRE, 2011)から区分外とした。	区分外	-	-	-	-	甲殻類(ニセネコゼミジノ)の48時間LC50 = 630 mg/L(AQUIRE, 2011)から区分外とした。	2016.3.22修正
22A4017	硝酸亜鉛(II)六水和物	10196-18-6	水生環境有害性(急性) 特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2(全身毒性)	健康有害性	警告	H371: 臓器の障害 H401: 水生生物に毒性	P309+P311: 暴露したとき、又は気分が悪いとき、又は気分が悪いとき、医師に連絡すること。 P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264: 取扱後は...よく洗うこと。 P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P405: 施錠して保管すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	ラットおよびマウスに経口投与により、死亡の大部分は最初の48時間に発生し、毒性症状として、縮瞳、結膜炎、摂餌量と体重の低下、尾の出血と血液生成がみられ、生存例では時間とともに消失し、LD50値はラットで1330 mg/kg、マウスで1452 mg/kgと報告されている(EHC 221(2001))。LD50値から区分2相当であるが、標的臓器を特定できないので区分2(全身毒性)とした。	区分2(全身毒性)	健康有害性	警告	H371: 臓器の障害 H401: 水生生物に毒性	P309+P311: 暴露したとき、又は気分が悪いとき、医師に連絡すること。 P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264: 取扱後は...よく洗うこと。 P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P405: 施錠して保管すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	ラットおよびマウスに経口投与により、死亡の大部分は最初の48時間に発生し、毒性症状として、縮瞳、結膜炎、摂餌量と飲水量の低下、尾の出血と血液生成がみられ、生存例では時間とともに消失し、LD50値はラットで1330 mg/kg(六水和物として2089mg/kg)、マウスで926mg/kg(六水和物として1452 mg/kg)と報告されている(EHC 221(2001))。LD50値から区分2相当であるが、標的臓器を特定できないので区分2(全身毒性)とした。	2016.3.22修正
22A4021	亜リン酸	13598-36-2	水生環境有害性(急性)	区分外	-	-	-	-	魚類(メダカ)での96時間LC50 = 6980-9784 mg/L(IUCLID, 2000)であることから、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	魚類(ゼブラフィッシュ)での96時間LC50 = 6980-9784 mg/L(IUCLID, 2000)であることから、区分外とした。	2016.3.22修正
22A4022	メタバナジン酸ナトリウム	13718-26-8	水生環境有害性(急性)	区分2	-	-	H401: 水生生物に毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	甲殻類(オオミジノ)の48時間LC50 = 2.3 mg/L(AQUIRE, 2011)から区分2とした。	区分2	-	-	H401: 水生生物に毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	甲殻類(オオミジノ)の48時間LC50 = 2.3 mg/L(AQUIRE, 2011)から区分2とした。	2016.3.22修正
22A4024	エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	64-02-8	水生環境有害性(急性)	区分2	-	-	H401: 水生生物に毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	藻類( <i>Scenedesmus quadricauda</i> )の72時間EC50 = 1.01 mg/L(EU-RAR, 2004, IUCLID, 2000)であることから、区分2とした。	区分2	-	-	H401: 水生生物に毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	藻類( <i>Scenedesmus subspicatus</i> )の72時間EC50 = 1.01 mg/L(EU-RAR, 2004, IUCLID, 2000)であることから、区分2とした。	2016.3.22修正
22A4024	エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	64-02-8	水生環境有害性(長期間)	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分2であるが、 <b>本物質の慢性区分に関しては、OECD-ガイドライン文書No.23からも真の毒性ではなく、この毒性値を適用するべきではないとの専門家判断により、区分外とした。</b>	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分2であるが、 <b>急性毒性の分類に使った毒性値はOECD-ガイドライン文書No.23からも真の毒性ではなく、本物質の慢性区分にこの急性毒性値を適用するべきではないとの専門家判断により、区分外とした。</b>	2016.3.22修正
22A4026	2-ブチン-1,4-ジオール	110-65-6	水生環境有害性(長期間)	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分3であるが、急速分解性があり(OECD301におけるDOCIによる分解度:100%(EU-RAR, 2005)、かつ生物蓄積性が低いと推定される(log Kow = -0.93(EU-RAR, 2005))ことから、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分3であるが、急速分解性があり(OECD301におけるDOCIによる分解度:100%(EU-RAR, 2005)、かつ生物蓄積性が低いと推定される(log Kow = -0.93(PHYSROP Database, 2009))ことから、区分外とした。	2016.3.22修正
22A4029	ジソデシルフタレート	26761-40-0	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分外	-	-	-	-	ラットにガイドライン値範囲を大きく超える15000 mg/kgの経口投与で死亡および症状の発現はなく、剖検における変化も観察されていない(EU-RAR 36(2003))。また、ウサギにガイドライン値範囲を超える3130 mg/kgの経皮投与および剖検時には食欲不振などの一般症状および剖検時に肺の暗赤色が観察されたが、健康皮膚では局所影響として皮膚の紅斑を認めたのみで全身毒性は認められず(EU-RAR 36(2003))。ラットに2910 mg/kgの経皮投与においても一般症状および剖検時の病理学的異常は見出されていない(EU-RAR 36(2003))。さらに、ラットにミストのばく露による急性吸入毒性試験(5.6, 9.72, 12.54 mg/L)では、試験濃度全てがガイドライン値範囲を超えており、ばく露後の症状として興奮と粗毛があり、剖検による唯一の病理学的所見として、肺に多数の暗赤色の病巣が投与群でより高濃度で見られたと報告されているのみである(EU-RAR 36(2003))。以上の動物試験の結果に基づき、経口、経皮および吸入の3経路とも区分外と相当すると判断される。	区分外	-	-	-	-	ラットにガイドライン値範囲を大きく超える15000 mg/kgの経口投与で死亡および症状の発現はなく、剖検における変化も観察されていない(EU-RAR 36(2003))。また、ウサギにガイドライン値範囲を超える3130 mg/kgの経皮投与により、擦過皮膚では食欲不振などの一般症状および剖検時に肺の暗赤色が観察されたが、健康皮膚では局所影響として皮膚の紅斑を認めたのみで全身毒性は認められず(EU-RAR 36(2003))。ラットに2910 mg/kgの経皮投与においても一般症状および剖検時の病理学的異常は見出されていない(EU-RAR 36(2003))。さらに、ラットにミストのばく露による急性吸入毒性試験(5.6, 9.72, 12.54 mg/L)では、試験濃度全てがガイドライン値範囲を超えており、ばく露後の症状として興奮と粗毛があり、剖検による唯一の病理学的所見として、肺に多数の暗赤色の病巣が投与群でより高濃度で見られたと報告されているのみである(EU-RAR 36(2003))。以上の動物試験の結果に基づき、経口、経皮および吸入の3経路とも区分外と相当すると判断される。	2016.3.22修正
22A4029	ジソデシルフタレート	26761-40-0	水生環境有害性(急性)	区分外	-	-	-	-	藻類、甲殻類、魚類いずれにおいても、水溶解度(0.18 mg/L)付近までの濃度において、影響がみられていない(EU-RAR, 2003)ことから、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	藻類、甲殻類、魚類いずれにおいても、水溶解度(0.18 mg/L)付近までの濃度において、影響がみられていない(EU-RAR, 2003)ことから、区分外とした。	2016.3.22修正
22A4029	ジソデシルフタレート	26761-40-0	水生環境有害性(長期間)	区分4	-	-	H413: 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ	P273: 環境への放出を避けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	水溶解度までの濃度で急性水生毒性が報告されておらず、急性毒性区分外であるが、難水溶性であり(水溶解度: 0.28 mg/L(PHYSROP Database, 2011))、急速分解性がなく(OECD 301C: BOD 54%(EU-RAR, 2003))、log Kow > 4(10.36(PHYSROP Database, 2011))であることから、区分4とした。	区分4	-	-	H413: 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ	P273: 環境への放出を避けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	水溶解度までの濃度で急性水生毒性が報告されておらず、急性毒性区分外であるが、難水溶性であり(水溶解度: 0.28 mg/L(PHYSROP Database, 2011))、急速分解性がなく(OECD 301C: BOD 54%(EU-RAR, 2003))、log Kow = 10.36(>4)(PHYSROP Database, 2011)であることから、区分4とした。	2016.3.22修正

22A4030	4-ノニルフェノール (分枝)	84852-15-3	水生環境有害性 (急性)	区分1	環境	警告	H400：水生生物に 非常に強い毒性	P273：環境への放 出を避けること。 P391：漏出物を回 収すること。 P501：内容物／容 器を...に廃棄す ること。	深類 (Skeletonea costatum) の96時間EC50 = 0.027 mg/L (EU-RAR, 2002) から区分1とした。	区分1	環境	警告	H400：水生生物に 非常に強い毒性	P273：環境への放 出を避けること。 P391：漏出物を回 収すること。 P501：内容物／容 器を...に廃棄す ること。	深類 (Skeletonea costatum) の96時間EC50 = 0.027 mg/L (EU-RAR, 2002) から区分1とした。	2016.3.22修正
22A4034	ノルマル-ブチルベン ゼン	104-51-8	生殖細胞変異原 性	分類できな い	-	-	-	-	in vivo 試験のデータがなく分類できない。なお、エム ムス試験で陰性(有害性評価書(Access on June 2010))の情報があ。	分類できな い	-	-	-	in vivo 試験のデータがなく分類できない。なお、エム ムス試験で陰性(内分泌かく乱作用に関する試験結 果及び有害性評価書(Access on June 2010))の情 報がある。	2016.3.22修正	
22A4034	ノルマル-ブチルベン ゼン	104-51-8	生殖毒性	分類できな い	-	-	-	-	ラットを用いた強制経口投与による2世代繁殖毒性 試験において、肝臓および腎臓に重量増加、病理組 織学的変化がみられた用量でF0雌雄親動物の繁殖 能力に影響を及ぼさず、F1親動物の繁殖能に悪影 響を及ぼす可能性は少ないと考えられ、また、F1及 びF2仔動物に対しても悪影響は見出されていない (経産学生殖試験(Access on June 2010))。した がって、当該物質が重篤な生殖毒性を惹起する物 質であるとは考え難いが、催奇形性を含む仔の発生 に対する影響に関してはデータ不十分のため「分類 できない」とした。	分類できな い	-	-	-	ラットを用いた強制経口投与による2世代繁殖毒性 試験において、肝臓および腎臓に重量増加、病理組 織学的変化がみられた用量でF0雌雄親動物の繁殖 能力に影響を及ぼさず、F1親動物の繁殖能に悪影 響を及ぼす可能性は少ないと考えられ、また、F1及 びF2仔動物に対しても悪影響は見出されていない (内分泌かく乱作用に関する試験結果及び有害性評 価書(Access on June 2010))。したがって、当該物 質が重篤な生殖毒性を惹起する物質であるとは考 え難いが、催奇形性を含む仔の発生に対する影響 に関してはデータ不十分のため「分類できない」と した。	2016.3.22修正	
22A4037	2,6-ジメチルヘプタン -4-オール	108-82-7	自然発火性液体	区分外	-	-	-	-	発火点は257°Cであり(Weiss(2nd, 2986))、常温で 発火しないと考えられる。	区分外	-	-	-	発火点は257°Cであり(Weiss(2nd, 1986))、常温で 発火しないと考えられる。	2016.3.22修正	
22A4037	2,6-ジメチルヘプタン -4-オール	108-82-7	眼に対する重篤な 損傷性／眼刺激性	区分2B	-	警告	H320：眼刺激	P305+P351+P338： 眼に入った場合：水 で数分間注意深く 洗うこと。次にコン タクトレンズを着用 して容易に外せ る場合は外すこ と。その後も洗浄 を続けること。 P337+P313：眼の 刺激が続く場合：医 師の診断／手当て を受けること。 P264：取扱後は ...よく洗うこ と。	ウサギを用いた試験で軽度の刺激性 (slightly irritating) の結果 (PATTY (5th, 2001))、およびウサ ギを用いた別の試験ではごく軽度で一過性のグレイ ド2の傷害(グレード10が最も重度)を起こしたとの報 告(HSDB(2002))に基づき、区分2Bとした。なお、ヒ トでは蒸気ばく露により0.5%の濃度で眼に刺激を生 じる(HSDB(2002))とも述べられている。	区分2B	-	警告	H320：眼刺激	P305+P351+P338： 眼に入った場合：水 で数分間注意深く 洗うこと。次にコン タクトレンズを着用 して容易に外せ る場合は外すこ と。その後も洗浄 を続けること。 P337+P313：眼の 刺激が続く場合：医 師の診断／手当て を受けること。 P264：取扱後は ...よく洗うこ と。	ウサギを用いた試験で軽度の刺激性 (slightly irritating) の結果 (PATTY (5th, 2001))、およびウサ ギを用いた別の試験ではごく軽度で一過性のグレイ ド2の傷害(グレード10が最も重度)を起こしたとの報 告(HSDB(2002))に基づき、区分2Bとした。なお、ヒ トでは蒸気ばく露により0.5%の濃度で眼に刺激を生 じる(HSDB(2002))とも述べられている。	2016.3.22修正
22A4038	6-メチル-5-ヘプテン -2-オン	110-93-0	水生環境有害性 (急性)	区分3	-	-	H402：水生生物に 有害	P273：環境への放 出を避けること。 P501：内容物／容 器を...に廃棄す ること。	魚類(キンギョ)による96時間LC50 = 68 mg/L (SIDS, 2005)より、区分3とした。	区分3	-	-	H402：水生生物に 有害	P273：環境への放 出を避けること。 P501：内容物／容 器を...に廃棄す ること。	魚類(ゴールドフィンフッシュ)による96時間LC50 = 68 mg/L (SIDS, 2005)より、区分3とした。	2016.3.22修正
22A4038	6-メチル-5-ヘプテン -2-オン	110-93-0	水生環境有害性 (長期間)	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分3であるが、急速分解性があり(OECD TG301FでのBOD分解度:91%(SIDS, 2005))、かつ生 物蓄積性が低いと推定される(log Kow = 2.4 (PHYSPROP Database, 2011))ことから、区分外とし た。	区分外	-	-	-	急性毒性区分3であるが、急速分解性があり(OECD TG301FでのBOD分解度:91%(SIDS, 2005))、かつ生 物蓄積性が低いと推定される(log Kow = 2.4 (SIDS, 2005))ことから、区分外とした。	2016.3.22修正	
22A4041	7-メチル-3-メチレン 1,6-オクタジエン	123-35-3	水生環境有害性 (急性)	区分1	環境	警告	H400：水生生物に 非常に強い毒性	P273：環境への放 出を避けること。 P391：漏出物を回 収すること。 P501：内容物／容 器を...に廃棄す ること。	深類 (Pseudokirchneriella subcapitata) の72時間 EC50 = 0.45 mg/L (環境庁生態影響試験, 1998) から 区分1とした。	区分1	環境	警告	H400：水生生物に 非常に強い毒性	P273：環境への放 出を避けること。 P391：漏出物を回 収すること。 P501：内容物／容 器を...に廃棄す ること。	甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50 = 0.45 mg/L (環境庁生態影響試験, 1998) から区分1とした。	2016.3.22修正
22A4048	3,4-ジクロロ-1-ブテ ン	760-23-6	生殖毒性	分類できな い	-	-	-	-	ラットの経口投与による反復投与毒性・生殖発生毒 性併合試験(OECD TG 422: GLP)において、親動物 の交尾率、受胎率、妊娠期間、分娩率、分娩および 哺育状態など性機能および生殖能に影響は認めら れず、また、仔動物にも、出産回数、生存数、性比、 出生率および形態などに、被験物質投与の影響は 認められなかった(厚労省報告(1996))が、仔の発生 に及ぼす影響に関しては妊娠末期の胎仔検査が行 われていないので、データ不十分のため「分類で きない」とした。	分類できな い	-	-	-	ラットの経口投与による反復投与毒性・生殖発生毒 性併合試験(OECD TG 422: GLP)において、親動物 の交尾率、受胎率、妊娠期間、分娩率、分娩および 哺育状態など性機能および生殖能に影響は認めら れず、また、仔動物にも、出産回数、生存数、性比、 出生率および形態などに、被験物質投与の影響は 認められなかった(厚労省報告(1996))が、仔の発生 に及ぼす影響に関しては妊娠末期の胎仔検査が行 われていないので、データ不十分のため「分類で きない」とした。	2016.3.22修正	
22A4053	2-プロポキシエタノ ール	2807-30-9	水生環境有害性 (急性)	区分外	-	-	-	-	魚類96時間 LC50及び甲殻類48時間 EC50が5000 mg/L以上であることから、区分外とした。	区分外	-	-	-	魚類96時間 LC50及び甲殻類48時間 EC50が5000 mg/L以上 (SIDS, 2004) であることから、区分外と した。	2016.3.22修正	
22A4053	2-プロポキシエタノ ール	2807-30-9	水生環境有害性 (長期間)	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分外であり、急速分解性があり(28日 でのBOD分解度 = 100% (SIDS, 2004))、LogPow = 0.08 (PHYSPROP Database, 2011)) であることから、区分 外とした。	区分外	-	-	-	急性毒性区分外であり、急速分解性があり(20日 でのBOD分解度 = 100% (SIDS, 2004))、LogPow = 0.08 (PHYSPROP Database, 2011)) であることから、区分 外とした。	2016.3.22修正	
22A4055	1,3-ジメチルベンゼ ン	151-10-0	水生環境有害性 (急性)	区分2	-	-	H401：水生生物に 毒性	P273：環境への放 出を避けること。 P501：内容物／容 器を...に廃棄す ること。	甲殻類(ミジンコ)による24時間 EC50 = 1.45 mg/L (AQUIRE, 2011) であることから、区分2とした。	分類できな い	-	-	-	データなし	2016.3.22修正	
22A4055	1,3-ジメチルベンゼ ン	151-10-0	水生環境有害性 (長期間)	区分2	環境	-	H411：長期継続的 影響によって水生 生物に毒性	P273：環境への放 出を避けること。 P391：漏出物を回 収すること。 P501：内容物／容 器を...に廃棄す ること。	急性毒性区分2であり、急速分解性に関するデータ が入り手れないことから、区分2とした。	分類できな い	-	-	-	データなし	2016.3.22修正	

22A4063	ジプロピレングリコールメチルエーテル	34590-94-8	水生環境有害性(長期間)	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分外であり、難水溶性でない(水溶解度=100 µg/L (PHYSPROP Database, 2011))ことから、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分外であり、難水溶性でない(水溶解度=100000 mg/L (PHYSPROP Database, 2011))ことから、区分外とした。	2016.3.22修正
22A4064	酸化セリウム(IV)	1306-38-3	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1(肺)	健康有害性	危険	H372: 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害(肺)	P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264: 取扱後は...よく洗うこと。 P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P314: 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	セリウム等の希土類元素ヒュームのばく露を長年に亘り受けた労働者の肺では希土類元素の蓄積が見られ、肉芽腫、気腫、間質の線維化の肺病変と肺活量の低下が報告されている(環境省リスク評価 第8巻(2010))。また、酸化セリウム研磨剤にばく露後少なくとも15年以上経過して、呼吸困難のため来院した58歳の男性に軽度の胸膜肥厚と肺閉塞が見られ、病理検査の結果、慢性肥厚性胸膜炎と診断された事例(環境省リスク評価 第8巻(2010))。35年間光学レンズの研磨作業に従事し、離職後13年経過してから酸化セリウムのばく露に関連する希土類元素じん肺が判明した68歳男性の事例(PATY(5th, 2001))など、希土類元素の肺における長期間の残留を示すものであり、酸化セリウムのばく露が関与しているとされる有害事象発生報告は多い。一方、ラットに粉塵ばく露による13週間反復吸入試験において、剖検では5 mg/m <sup>3</sup> 以上のほぼ半数で <b>横隔膜</b> の拡張、退色、全例で気管支リンパ節の変化、51 mg/m <sup>3</sup> 以上の全動物で肺の退色、組織検査では、5 mg/m <sup>3</sup> 以上の雌雄の気管支リンパ節でリンパ組織増生、色素沈着、肺で色素沈着、51 mg/m <sup>3</sup> 以上の雌雄の肺で肺胞上皮の過形成、咽頭で化生及び色素沈着がそれぞれ認められ(環境省リスク評価 第8巻(2010))、影響はガイダンス値区分1の範囲を含む。以上のヒトおよび動物の知見に基づき区分1(肺)とした。	区分1(肺)	健康有害性	危険	H372: 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害(肺)	P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264: 取扱後は...よく洗うこと。 P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P314: 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	セリウム等の希土類元素ヒュームのばく露を長年に亘り受けた労働者の肺では希土類元素の蓄積が見られ、肉芽腫、気腫、間質の線維化の肺病変と肺活量の低下が報告されている(環境省リスク評価 第8巻(2010))。また、酸化セリウム研磨剤にばく露後少なくとも15年以上経過して、呼吸困難のため来院した58歳の男性に軽度の胸膜肥厚と肺閉塞が見られ、病理検査の結果、慢性肥厚性胸膜炎と診断された事例(環境省リスク評価 第8巻(2010))。35年間光学レンズの研磨作業に従事し、離職後13年経過してから酸化セリウムのばく露に関連する希土類元素じん肺が判明した68歳男性の事例(PATY(5th, 2001))など、希土類元素の肺における長期間の残留を示すものであり、酸化セリウムのばく露が関与しているとされる有害事象発生報告は多い。一方、ラットに粉塵ばく露による13週間反復吸入試験において、剖検では5 mg/m <sup>3</sup> 以上のほぼ半数で <b>横隔膜</b> の拡張、退色、全例で気管支リンパ節の変化、51 mg/m <sup>3</sup> 以上の全動物で肺の退色、組織検査では、5 mg/m <sup>3</sup> 以上の雌雄の気管支リンパ節でリンパ組織増生、色素沈着、肺で色素沈着、51 mg/m <sup>3</sup> 以上の雌雄の肺で肺胞上皮の過形成、咽頭で化生及び色素沈着がそれぞれ認められ(環境省リスク評価 第8巻(2010))、影響はガイダンス値区分1の範囲を含む。以上のヒトおよび動物の知見に基づき区分1(肺)とした。	2016.3.22修正
22A4066	セカンダリブチルアミン	13952-84-6	水生環境有害性(急性)	区分3	-	-	H402: 水生生物に有害	P273: 環境への放出を避けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	魚類(キンギョ)での96時間LC50 = 46-48 mg/L (HSDB, 2008)であることから、区分3とした。	区分3	-	-	H402: 水生生物に有害	P273: 環境への放出を避けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	魚類(コイ科の一種)での96時間LC50 = 46-68 mg/L (HSDB, 2008)であることから、区分3とした。	2016.3.22修正
22A4075	ガンマ-ブチロラクトン	96-48-0	特定標的臓器毒性(反復暴露)	分類できない	-	-	-	-	ラットおよびマウスの13週間反復経口投与試験において、両動物種とも最高用量(ラット 900 mg/kg/day、マウス 1050 mg/kg/day)で死亡例が発生し、ラットで450 mg/kg/day以上、マウスで525 mg/kg/day以上の用量で体重増加抑制や横臥位が認められたが、ラットで225 mg/kg/day、マウスで262 mg/kg/dayの用量では軽度または中等度の不活発が現れた以外は毒性影響は見られない(NTP TR 406(1992))。また、ラットおよびマウスの90日間経口投与試験のNOELは両動物種とも <b>0.25</b> (400 mg/kg/day)と報告され(IUCLID(2000))、ガイダンス値範囲を超えている。以上のデータから、経口経路では区分外に相当するが、他経路(吸入、経皮)についてはデータ不十分のため、特定標的臓器毒性(反復ばく露)の分類としては「分類できない」とした。	分類できない	-	-	-	-	ラットおよびマウスの13週間反復経口投与試験において、両動物種とも最高用量(ラット 900 mg/kg/day、マウス 1050 mg/kg/day)で死亡例が発生し、ラットで450 mg/kg/day以上、マウスで525 mg/kg/day以上の用量で体重増加抑制や横臥位が認められたが、ラットで225 mg/kg/day、マウスで262 mg/kg/dayの用量では軽度または中等度の不活発が現れた以外は毒性影響は見られない(NTP TR 406(1992))。また、ラットおよびマウスの90日間経口投与試験のNOELは両動物種とも <b>0.25</b> (400 mg/kg/day)と報告され(IUCLID(2000))、ガイダンス値範囲を超えている。以上のデータから、経口経路では区分外に相当するが、他経路(吸入、経皮)についてはデータ不十分のため、特定標的臓器毒性(反復ばく露)の分類としては「分類できない」とした。	2016.3.22修正
22A4076	メタクリルアミド	79-39-0	水生環境有害性(急性)	区分外	-	-	-	-	魚類(メダカ)の96時間LC50 > 100 mg/L、甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50 > 1000 mg/L、藻類(セネナストラム)の <b>96時間</b> EC50 > 1000 mg/L(いずれも環境庁生態影響試験, 1999)から、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	魚類(メダカ)の96時間LC50 > 100 mg/L、甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50 > 1000 mg/L、藻類(セネナストラム)の <b>72時間</b> EC50 > 1000 mg/L(いずれも環境庁生態影響試験, 1999)から、区分外とした。	2016.3.22修正
22A4077	N-メチロールアクリル	924-42-5	急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	-	-	-	-	GHSの定義による <b>液体</b> である。	分類対象外	-	-	-	-	GHSの定義による <b>固体</b> である。	2016.3.22修正
22A4080	4-エチルフェノール	123-07-9	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1	腐食性	危険	H318: 重篤な眼の損傷	P305+P351+P338: 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P260: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 P310: 直ちに医師に連絡すること。	ウサギ4匹に0.1 mL/kgを適用後24時間中等度~重度の結膜刺激(発赤、浮腫、排出物、壊死)、虹彩炎、角膜混濁、斑点、潰瘍から成る重度の刺激性を示した。適用後7日まで全例で重度の刺激が明瞭であり、 <b>1匹</b> がパンスを、もう1匹が眼周囲の脱毛を呈していた(HSDB(2003))。以上の眼への影響には不可逆的な所見も含まれているので区分1とした。	区分1	腐食性	危険	H318: 重篤な眼の損傷	P305+P351+P338: 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P260: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 P310: 直ちに医師に連絡すること。	ウサギ4匹に0.1 mL/kgを適用後24時間中等度~重度の結膜刺激(発赤、浮腫、排出物、壊死)、虹彩炎、角膜混濁、斑点、潰瘍から成る重度の刺激性を示した。適用後7日まで全例で重度の刺激が明瞭であり、 <b>2匹</b> がパンスを、もう1匹が眼周囲の脱毛を呈していた(HSDB(2003))。以上の眼への影響には不可逆的な所見も含まれているので区分1とした。	2016.3.22修正
22A4080	4-エチルフェノール	123-07-9	水生環境有害性(長期間)	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分2であるが、急速分解性があり( <b>28日</b> 間のBOD分解度=90%(既存点検, 1994))、生物濃縮性が低いと考えられる(LogPow = 2.58 (PHYSPROP Database, 2011))ことから、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分2であるが、急速分解性があり( <b>14日</b> 間のBOD分解度=90%(既存点検, 1994))、生物濃縮性が低いと考えられる(LogPow = 2.58 (PHYSPROP Database, 2011))ことから、区分外とした。	2016.3.22修正

22A4081	テオブロミン(別名: 2,6-ジヒドロキシン-3,7-ジメチルプリン)	83-67-0	生殖毒性	区分1B	健康有害性	危険	H360: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ	P308+P313: 暴露又は暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P201: 使用前に取扱説明書を手入すること。 P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P281: 指定された個人用保護具を使用すること。 P405: 施設して保管すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	マウスを用いて交配の1週間前から混雑投与した生殖試験において、少なくとも複数の生殖指標に対し影響を及ぼし、妊娠母体当りの生存出生仔の割合が対照群と比べ低下し、交差交配の結果から、雄では生殖能の重度の損傷、雄では異常精子の発生増加が見出された(NTP Report # RACB83073 (1984))。また、妊娠マウスの嚔管形成期に腹腔内投与により、口蓋裂、指欠損の奇形の発生増加、妊娠ラットの嚔管形成期の経口投与においても奇形の発生が報告されている(IARC 51(1991))。以上の親の生殖能または仔の発生に及ぼす影響は、親動物で一般毒性が発現していない中間用量群でも認められていることから区分1Bとした。なお、本物質を含むココアを用いた経口によるラット3世代生殖毒性試験では、生殖に対する悪影響は見られなかったとの報告もある(IARC 51(1991))。	区分1B	健康有害性	危険	H360: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ	P308+P313: 暴露又は暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P201: 使用前に取扱説明書を手入すること。 P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P281: 指定された個人用保護具を使用すること。 P405: 施設して保管すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	マウスを用いて交配の1週間前から混雑投与した生殖試験において、少なくとも複数の生殖指標に対し影響を及ぼし、妊娠母体当りの生存出生仔の割合が対照群と比べ低下し、交差交配の結果から、雄では生殖能の重度の損傷、雄では異常精子の発生増加が見出された(NTP Report # RACB83073 (1984))。また、妊娠マウスの嚔管形成期に腹腔内投与により、口蓋裂、指欠損の奇形の発生増加、妊娠ラットの嚔管形成期の経口投与においても奇形の発生が報告されている(IARC 51(1991))。以上の親の生殖能または仔の発生に及ぼす影響は、親動物で一般毒性が発現していない中間用量群でも認められていることから区分1Bとした。なお、本物質を含むココアを用いた経口によるラット3世代生殖毒性試験では、生殖に対する悪影響は見られなかったとの報告もある(IARC 51(1991))。	2016.3.22修正
22A4082	2,3,6-トリメチルフェノール	2416-94-6	水生環境有害性(急性)	区分2	-	-	H401: 水生生物に毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	魚類(コールドンオルフエ)による96時間 LC50 = 4.8 mg/L (IUCLID, 2000) であることから、区分2とした。	区分2	-	-	H401: 水生生物に毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	魚類(コールドンオルフエ)による96時間 LC50 = 4.8 mg/L (AQUIRE, 2011; IUCLID, 2000) であることから、区分2とした。	2016.3.22修正
22A4082	2,3,6-トリメチルフェノール	2416-94-6	水生環境有害性(長期間)	区分2	環境	-	H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P391: 漏出物を回収すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	急性毒性区分2であり、急速分解がない(28日間でのBOD分解度 = 15% (既存点検, 2002)) ことから、区分2とした。	区分2	環境	-	H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P391: 漏出物を回収すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	急性毒性区分2であり、急速分解がない(28日間でのBOD分解度 = 1% (既存点検, 2002)) ことから、区分2とした。	2016.3.22修正
22A4085	オルトニトロフェノール	88-75-5	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1(血液)	健康有害性	危険	H370: 臓器の障害(血液)	P307+P311: 暴露した場合: 医師に連絡すること。 P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264: 取扱後は、よく洗うこと。 P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P321: 特別な処置が必要である(このラベルの...を見よ)。 P405: 施設して保管すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	芳香族アミン化合物は一般にヒトおよび実験動物でメトヘモグロビン生成を起こすことが知られている(ATSDR(2000))。ネコに50~250 mg/kgを経口投与により用量依存的なメトヘモグロビンの生成が認められ(CICAD 20(2000))、ガイダンス値から判断すると区分1相当であることから、区分1(血液)とした。なお、ラットおよびマウスを用いた急性経口毒性試験(LD50値:ラット 2830-5376 mg/kg bw、マウス 1300-2080 mg/kg bw)において、症状所見として呼吸困難、歩行失調、震え、傾眠、無気力、痙攣、剖検では高用量で肝臓と腎臓の充血、および胃の潰瘍が報告されている(CICAD(J)20(2004))。症状はマウスの場合にはガイダンス値の区分2に相当以上の用量で見られているが、いずれも不明確である(記述(CICAD(J)20(2004))されている。なお、メトヘモグロビンの生成は大きく群に分けられ、ラット/マウス/モルモット/サルは、メトヘモグロビン生成の影響を受けづらく、一般的には誘導されたメトヘモグロビンをヒト/イヌ/ネコよりも効果的に低減させることができる(Blom, 2000)。ネコはメトヘモグロビン生成の影響を最も受けやすく、これはヘモグロビンの種類が異なることが最大の原因とされている( <a href="http://www.nihs.gov/ip/hse/chem-info/eu/eui/V65-l.pdf">http://www.nihs.gov/ip/hse/chem-info/eu/eui/V65-l.pdf</a> )。	区分1(血液)	健康有害性	危険	H370: 臓器の障害(血液)	P307+P311: 暴露した場合: 医師に連絡すること。 P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264: 取扱後は、よく洗うこと。 P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P321: 特別な処置が必要である(このラベルの...を見よ)。 P405: 施設して保管すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	芳香族アミン化合物は一般にヒトおよび実験動物でメトヘモグロビン生成を起こすことが知られている(ATSDR(2000))。ネコに50~250 mg/kgを経口投与により用量依存的なメトヘモグロビンの生成が認められ(CICAD 20(2000))、ガイダンス値から判断すると区分1相当であることから、区分1(血液)とした。なお、ラットおよびマウスを用いた急性経口毒性試験(LD50値:ラット 2830-5376 mg/kg bw、マウス 1300-2080 mg/kg bw)において、症状所見として呼吸困難、歩行失調、震え、傾眠、無気力、痙攣、剖検では高用量で肝臓と腎臓の充血、および胃の潰瘍が報告されている(CICAD(J)20(2004))。症状はマウスの場合にはガイダンス値の区分2に相当以上の用量で見られているが、いずれも不明確である(記述(CICAD(J)20(2004))されている。なお、メトヘモグロビンの生成は大きく群に分けられ、ラット/マウス/モルモット/サルは、メトヘモグロビン生成の影響を受けづらく、一般的には誘導されたメトヘモグロビンをヒト/イヌ/ネコよりも効果的に低減させることができる(Blom, 2000)。ネコはメトヘモグロビン生成の影響を最も受けやすく、これはヘモグロビンの種類が異なることが最大の原因とされている( <a href="http://www.nihs.gov/ip/hse/chem-info/eu/eui/V65-l.pdf">http://www.nihs.gov/ip/hse/chem-info/eu/eui/V65-l.pdf</a> )。	2016.3.22修正
22A4085	オルトニトロフェノール	88-75-5	特定標的臓器毒性(反復暴露)	分類できない	-	-	-	-	ラットを用いた28日間反復経口投与試験(OECD TG 407)において、副腎重量の変化が示されているのみで、主要臓器の病理組織学的検査では投与に関連する変化はなく、高用量群の200 mg/kg/day(90日換算:62.2 mg/kg/day)まで重大な毒性所見は認められていない(CICAD 20(2000))。また、ラットを用いた4週間蒸気吸入試験では、高用量群の60 mg/m <sup>3</sup> (90日換算:0.018 mg/L)における頸甲介と鼻甲介に沿う上皮の扁平化生所見を除き、病理組織学的検査によりばく露に関連する影響は見られず、 <b>ばく露11週後</b> に測定されたメトヘモグロビン濃度にも明らかな影響は認められていない(CICAD 20(2000))。以上の結果はいずれもガイダンス値範囲内に相当する用量であり、ガイダンス値上限付近での影響は不明である。したがって、データ不足のため「分類できない」とした。	分類できない	-	-	-	ラットを用いた28日間反復経口投与試験(OECD TG 407)において、副腎重量の変化が示されているのみで、主要臓器の病理組織学的検査では投与に関連する変化はなく、高用量群の200 mg/kg/day(90日換算:62.2 mg/kg/day)まで重大な毒性所見は認められていない(CICAD 20(2000))。また、ラットを用いた4週間蒸気吸入試験では、高用量群の60 mg/m <sup>3</sup> (90日換算:0.018 mg/L)における頸甲介と鼻甲介に沿う上皮の扁平化生所見を除き、病理組織学的検査によりばく露に関連する影響は見られず、 <b>11回目的ばく露後</b> に測定されたメトヘモグロビン濃度にも明らかな影響は認められていない(CICAD 20(2000))。以上の結果はいずれもガイダンス値範囲内に相当する用量であり、ガイダンス値上限付近での影響は不明である。したがって、データ不足のため「分類できない」とした。	2016.3.22修正	
22A4086	パラターシャリブチル安息香酸	98-73-7	皮膚腐食性/刺激性	区分外	-	-	-	-	ウサギに試験物質を固体で800 mg、またはアルコールと鉱油の懸濁液で300 mgを8時間適用したDraize試験で皮膚刺激性の兆候は見られず(EU-RAR(2009))。ウサギに500 mgを半閉塞により4時間適用した試験で皮膚反応を認めなかった(EU-RAR(2009))の記述に基づき、区分外とした。	区分外	-	-	-	ウサギに試験物質を固体で800 mg/kg、またはアルコールと鉱油の懸濁液で300 mg/kg bwを8時間適用したDraize試験で皮膚刺激性の兆候は見られず(EU-RAR(2009))。ウサギに500 mgを半閉塞により4時間適用した試験で皮膚反応を認めなかった(EU-RAR(2009))の記述に基づき、区分外とした。	2016.3.22修正	

22A4086	パラ-ターシャリーブチル安息香酸	98-73-7	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B	-	警告	H320：眼刺激	P305+P351+P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313：眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。 P264：取扱後は...よく洗うこと。	ウサギの眼に100 mgを適用したドレイズ試験において2匹中1匹に僅かな刺激を認めたのみ(EU-RAR (2009))であったが、100 mgを適用した別の試験(EU test guideline B5)では24時間で6匹全例に <b>軽度</b> の結膜反応が見られ、2匹にグレード1または2の角膜混濁が見られた。これらは3日以内に回復したとの結果(EU-RAR(2009))に基づき区分2Bとした。	区分2B	-	警告	H320：眼刺激	P305+P351+P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313：眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。 P264：取扱後は...よく洗うこと。	ウサギの眼に100 mgを適用したドレイズ試験において <b>軽度</b> 各1匹のウサギに100mgを適用したドレイズ試験において僅かな刺激を認めたのみ(EU-RAR (2009))であったが、100 mgを適用した別の試験(EU test guideline B5)では24時間で6匹全例に <b>中程度</b> の結膜反応が見られ、2匹にグレード1または2の角膜混濁が見られた。これらは3日以内に回復したとの結果(EU-RAR(2009))に基づき区分2Bとした。	2016.3.22修正
22A4090	4-アミノピリジン	504-24-5	特定構造的器毒性(単回暴露)	区分1(神経系)	健康有害性	危険	H370：器系の障害(神経系)	P307+P311：暴露した場合：医師に連絡すること。 P260：粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264：取扱後は...よく洗うこと。 P270：この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P321：特別な処置が必要である(このラベルの...を見よ)。 P405：施錠して保管すること。 P501：内容物/容器を...に廃棄すること。	本物質は <b>多発性硬化症の歩行改善を目的とした治療薬</b> に使用されており、カリウムチャネルを遮断し、アセチルコリンと神経末端部のノルアドレナリンの放出を増加させ、副作用として自律神経系や筋肉への影響は小さいが中枢神経系に対しては、振戦、興奮、痙攣のような大きな影響を与えると記載されている(PATY(5th, 2001))。約60 mgを摂取したヒト2人のうち1人が吐気、嘔吐、めまいなどと共に強直性間代性痙攣を発症したとの報告、また本物質による急性中毒として、筋痙攣、腹部痙攣、下肢感覚異常、筋緊張亢進、錯乱などが報告されている(HSDB(2010))。以上のヒトの情報から区分1(神経系)とした。	区分1(神経系)	健康有害性	危険	H370：器系の障害(神経系)	P307+P311：暴露した場合：医師に連絡すること。 P260：粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264：取扱後は...よく洗うこと。 P270：この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P321：特別な処置が必要である(このラベルの...を見よ)。 P405：施錠して保管すること。 P501：内容物/容器を...に廃棄すること。	本物質は多発性硬化症の歩行改善を目的とした治療薬(AMPYRA(4-アミノピリジン製剤)専用サイト情報(Acorda社 <a href="http://www.ampyra.com/home/">http://www.ampyra.com/home/</a> )(Access on Sept. 2010))に使用されており、カリウムチャネルを遮断し、アセチルコリンと神経末端部のノルアドレナリンの放出を増加させ、副作用として自律神経系や筋肉への影響は小さいが中枢神経系に対しては、振戦、興奮、痙攣のような大きな影響を与えると記載されている(PATY(5th, 2001))。約60 mgを摂取したヒト2人のうち1人が吐気、嘔吐、めまいなどと共に強直性間代性痙攣を発症したとの報告、また本物質による急性中毒として、筋痙攣、腹部痙攣、下肢感覚異常、筋緊張亢進、錯乱などが報告されている(HSDB(2010))。以上のヒトの情報から区分1(神経系)とした。	2016.3.22修正
22A4090	4-アミノピリジン	504-24-5	特定構造的器毒性(反復暴露)	区分1(神経系)	健康有害性	危険	H372：長期にわたる、又は反復暴露による器系の障害(神経系)	P260：粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264：取扱後は...よく洗うこと。 P270：この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P314：気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 P501：内容物/容器を...に廃棄すること。	本物質は多発性硬化症の歩行改善を目的とした治療薬に使用されており、カリウムチャネルを遮断し、アセチルコリンと神経末端部のノルアドレナリンの放出を増加させ、自律神経系や筋肉への影響は小さいが中枢神経系に対しては、振戦、興奮、痙攣のような大きな影響を与えると記載されている(PATY(5th, 2001))。副作用としてヒトの低用量(1日5-30 mg)摂取により、神経過敏、めまい、記憶変化、動脈痙攣、末梢感覚異常が記載され、高用量では事故による中毒例で、上記の症状に加え脱力、切迫感、呼吸困難、激越などの症状が報告されている(EPA RED(2007))。以上のヒトの情報から区分1(神経系)とした。	区分1(神経系)	健康有害性	危険	H372：長期にわたる、又は反復暴露による器系の障害(神経系)	P260：粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264：取扱後は...よく洗うこと。 P270：この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P314：気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 P501：内容物/容器を...に廃棄すること。	本物質は多発性硬化症の歩行改善を目的とした治療薬(AMPYRA(4-アミノピリジン製剤)専用サイト情報(Acorda社 <a href="http://www.ampyra.com/home/">http://www.ampyra.com/home/</a> )(Access on Sept. 2010))に使用されており、カリウムチャネルを遮断し、アセチルコリンと神経末端部のノルアドレナリンの放出を増加させ、自律神経系や筋肉への影響は小さいが中枢神経系に対しては、振戦、興奮、痙攣のような大きな影響を与えると記載されている(PATY(5th, 2001))。副作用としてヒトの低用量(1日5-30 mg)摂取により、神経過敏、めまい、記憶変化、動脈痙攣、末梢感覚異常が記載され、高用量では事故による中毒例で、上記の症状に加え脱力、切迫感、呼吸困難、激越などの症状が報告されている(EPA RED(2007))。以上のヒトの情報から区分1(神経系)とした。	2016.3.22修正
22A4094	1,2,3-ベンゾトリアゾール	95-14-7	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2	感嘆符	警告	H319：強い眼刺激	P305+P351+P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313：眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。 P264：取扱後は...よく洗うこと。 P280：保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。	ウサギを用いた試験において角膜混濁、結膜、虹彩の発赤が認められた(DFGMAK-Doc, Vol.2(1991))との報告より区分2とした。なお、ウサギを用いた他の試験で刺激性スコア：81.0、26日後のスコア：31であるが、この値は砂によるような機械的刺激である(HSDB(2003))との報告もある。	区分2	感嘆符	警告	H319：強い眼刺激	P305+P351+P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337+P313：眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。 P264：取扱後は...よく洗うこと。 P280：保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。	ウサギを用いた試験において角膜混濁、結膜、虹彩の発赤が認められた(DFGMAK-Doc, Vol.2(1991))との報告より区分2とした。なお、ウサギを用いた他の試験で刺激性スコア：81.0、26日後のスコア：31であるが、この値はコントロールの塩、砂、砂糖の数値を超えているが、これは機械的刺激によるものである(HSDB(2003))との報告もある。	2016.3.22修正

22A4096	3-(4-クロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素	150-68-5	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2(血液系)	健康有害性	警告	H373: 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ(血液系)	P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P314: 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	ラットおよびマウスに13週間経口投与した試験において、リンパ球および造血組織への影響が、ラットで6000 ppm(300 mg/kg/day)以上、マウスでは12000 ppm(1800 mg/kg/day)以上といずれもガイダンス値範囲を超えた高用量で報告(NTP TR No.266(1988))されている。しかし、 <b>経ラット</b> に250-1000 ppm(12.5-50 mg/kg/day)を14か月経口投与により、赤血球形成の増加と赤血球形態変化を伴う二次的貧血が認められ、組織学的には脾臓において溶血性貧血と赤血球の増加を示す反応を示すヘモジリン沈着が観察され、さらに色素沈着は腎臓と肝臓でも認められ(HSDB(2002))、発現用量はガイダンス値範囲の区分2に相当であることから、区分2(血液系)とした。	区分2(血液系)	健康有害性	警告	H373: 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ(血液系)	P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P314: 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	ラットおよびマウスに13週間経口投与した試験において、リンパ球および造血組織への影響が、ラットで6000 ppm(300 mg/kg/day)以上、マウスでは12000 ppm(1800 mg/kg/day)以上といずれもガイダンス値範囲を超えた高用量で報告(NTP TR No.266(1988))されている。しかし、 <b>経ラット</b> に250-1000 ppm(12.5-50 mg/kg/day)を14か月経口投与により、赤血球形成の増加と赤血球形態変化を伴う二次的貧血が認められ、組織学的には脾臓において溶血性貧血と赤血球の増加を示す反応を示すヘモジリン沈着が観察され、さらに色素沈着は腎臓と肝臓でも認められ(HSDB(2002))、発現用量はガイダンス値範囲の区分2に相当であることから、区分2(血液系)とした。	2016.3.22修正
22A4097	トリスジクロロプロピルホスフェート	13674-87-8	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外	-	-	-	-	ウサギ3匹に0.5 mLを適用した試験(OECD TG405, GLP)で、1時間後に全例で軽度の結膜発赤が見られたが24時間後に回復し、その他にばく露の影響はなかったとの報告(EU-RAR(2008))に基づき、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	ウサギ3匹に0.1 mLを適用した試験(OECD TG405, GLP)で、1時間後に全例で軽度の結膜発赤が見られたが24時間後に回復し、その他にばく露の影響はなかったとの報告(EU-RAR(2008))に基づき、区分外とした。	2016.3.22修正
22A4097	トリスジクロロプロピルホスフェート	13674-87-8	生殖毒性	区分外	-	-	-	-	妊娠ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験の結果、最高用量の400 mg/kgでは母体毒性として、体重増加量と摂餌量の有意な減少に加え死亡も見られ、吸収胚と骨化遅延が増加した。 <b>200 mg/kg</b> 以下の用量では胎仔死亡の増加はなく、胎仔の生育にも異常なく、奇形も見られなかった(SIAP(2009))。吸収胚の増加は死亡を含む顕著な母体毒性が見られた高用量のみでの影響のため分類根拠としなかった。さらに、ウサギに12週間経口投与により、交配、受胎、妊娠の指標に加え、黄体数、着床数、生存胎仔数、吸収胚数にも影響はなく、性機能・生殖能に悪影響が認められなかったとの報告(EU-RAR(2008))もあり、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	妊娠ラットの器官形成期に経口投与した発生毒性試験の結果、最高用量の400 mg/kgでは母体毒性として、体重増加量と摂餌量の有意な減少に加え死亡も見られ、吸収胚と骨化遅延が増加した。 <b>100 mg/kg</b> 以下の用量では胎仔死亡の増加はなく、胎仔の生育にも異常なく、奇形も見られなかった(SIAP(2009))。吸収胚の増加は死亡を含む顕著な母体毒性が見られた高用量のみでの影響のため分類根拠としなかった。さらに、ウサギに12週間経口投与により、交配、受胎、妊娠の指標に加え、黄体数、着床数、生存胎仔数、吸収胚数にも影響はなく、性機能・生殖能に悪影響が認められなかったとの報告(EU-RAR(2008))もあり、区分外とした。	2016.3.22修正
22A4098	N,N'-ジエチルチオ尿素	105-55-5	水生環境有害性(長期間)	区分外	-	-	-	-	急速分解性に関する適切なデータが得られていないが、信頼性のある慢性毒性データは全て <b>NOEC &gt; 1 mg/L</b> である(AQUIRE, 2012)ことから、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	急速分解性に関する適切なデータが得られていないが、信頼性のある慢性毒性データは全て <b>LOEC ≥ 1 mg/L</b> である(AQUIRE, 2012)ことから、区分外とした。	2016.3.22修正
22A4099	トリメチルチオ尿素	2489-77-2	水生環境有害性(急性)	区分外	-	-	-	-	甲殻類(オオミジンコ)の48時間 <b>EC50 = 770 mg/L</b> (AQUIRE, 2011)から区分外とした。	区分外	-	-	-	-	甲殻類(オオミジンコ)の48時間 <b>LC50 = 770 mg/L</b> (AQUIRE, 2011)から区分外とした。	2016.3.22修正
22A4100	ジエチルジチオカルバミン酸ナトリウム	148-18-5	水生環境有害性(急性)	区分1	環境	警告	H400: 水生生物に非常に強い毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P391: 漏出物を回収すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	甲殻類(オオミジンコ)の48時間 <b>EC50 = 0.91 mg/L</b> (AQUIRE, 2011)から区分1とした。	区分1	環境	警告	H400: 水生生物に非常に強い毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P391: 漏出物を回収すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	甲殻類(オオミジンコ)の48時間 <b>LC50 = 0.91 mg/L</b> (AQUIRE, 2011)から区分1とした。	2016.3.22修正
22A4101	ジエチルジチオカルバミン酸亜鉛	14324-55-1	水生環境有害性(急性)	区分1	環境	警告	H400: 水生生物に非常に強い毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P391: 漏出物を回収すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	甲殻類(オオミジンコ)の48時間 <b>EC50 = 0.24 mg/L</b> (AQUIRE, 2011、HSDB, 2010)から区分1とした。	区分1	環境	警告	H400: 水生生物に非常に強い毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P391: 漏出物を回収すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	甲殻類(オオミジンコ)の48時間 <b>LC50 = 0.24 mg/L</b> (AQUIRE, 2011、HSDB, 2010)から区分1とした。	2016.3.22修正
22A4104	バラ-アニスアルデヒド	123-11-5	生殖毒性	区分2	健康有害性	警告	H361: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い	P308+P313: 暴露又は暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P201: 使用前に取扱説明書を手入手すること。 P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P281: 指定された個人用保護具を使用すること。 P405: 施設して保管すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	ラットを用いた反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG 422)において、一過性の流産、肝細胞肥大など親動物の一般毒性が認められた用量で、受胎率、産児数、分娩率、出産生児数の減少(500 mg/kg)( <b>厚労省報告(Access on Oct. 2010)</b> )などの影響が認められことから、区分2とした。	区分2	健康有害性	警告	H361: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い	P308+P313: 暴露又は暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P201: 使用前に取扱説明書を手入手すること。 P202: 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P281: 指定された個人用保護具を使用すること。 P405: 施設して保管すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	ラットを用いた反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG 422)において、一過性の流産、肝細胞肥大など親動物の一般毒性が認められた用量で、受胎率、産児数、分娩率、出産生児数の減少(500 mg/kg)( <b>厚労省報告「4-トキシベンズアルデヒドのラットを用いた反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験」(Access on Oct. 2010)</b> )などの影響が認められことから、区分2とした。	2016.3.22修正
22A4104	バラ-アニスアルデヒド	123-11-5	水生環境有害性(長期間)	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分3であるが、急速分解性があり(良分解、BODによる分解度: 99%(既存文献, 2001))、かつ生物蓄積性が低いと予想される(Log Kow = 1.79 ( <b>PHYSPROP Database, 2011</b> ))ことから区分外とした。	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分3であるが、急速分解性があり(良分解、BODによる分解度: 99%(既存文献, 2001))、かつ生物蓄積性が低いと予想される(Log Kow = 1.79 ( <b>PHYSPROP Database, 2009</b> )))ことから区分外とした。	2016.3.22修正
22A4108	クマリン	91-64-5	水生環境有害性(急性)	区分3	-	-	H402: 水生生物に有害	P273: 環境への放出を避けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	甲殻類(オオミジンコ)の48時間 <b>EC50 = 13.5 mg/L</b> (AQUIRE, 2011)から区分3とした。	区分3	-	-	H402: 水生生物に有害	P273: 環境への放出を避けること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	甲殻類(オオミジンコ)の48時間 <b>LC50 = 13.5 mg/L</b> (AQUIRE, 2011)から区分3とした。	2016.3.22修正

22A4108	クマリン	91-64-5	水生環境有害性 (長期間)	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分3であるが、急速分解性があり(経分 解、BODによる分解度:100%(既存点検、1977))、かつ 生物蓄積性が低いと予想される(Log Kow = 1.39 (PHYSPROP Database, 2011))ことから区分外とした。	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分3であるが、急速分解性があり(良分 解、BODによる分解度:100%(既存点検、1977))、かつ 生物蓄積性が低いと予想される(Log Kow = 1.39 (PHYSPROP Database, 2011))ことから区分外とした。	2016.3.22修正	
22A4109	シト罗纳ール	106-23-0	酸化性液体	分類対象 外	-	-	-	-	フッ素及び塩素を含まず、酸素を含む有機化合物 であるが、この酸素が炭素、水素以外の元素と化学 結合していない。	分類対象 外	-	-	-	-	フッ素及び塩素を含まず、酸素を含む有機化合物 であるが、この酸素が炭素、水素以外の元素と化学 結合していない。	2016.3.22修正	
22A4111	1-デカナール	112-31-2	生殖細胞変異原 性	分類でき ない	-	-	-	-	in vivo試験のデータがなく分類できない。なお、in vitro試験としては、エームス試験で陰性(JECFA FAS 48(2002))、チャイニーズハムスターの線維芽 細胞を用いた染色体異常試験で陰性(JECFA FAS 40(1999))の報告がある。	分類でき ない	-	-	-	-	in vivo試験のデータがなく分類できない。なお、in vitro試験としては、エームス試験で陰性(JECFA FAS 40(1998))、チャイニーズハムスターの線維芽 細胞を用いた染色体異常試験で陰性(JECFA FAS 40(1999))の報告がある。	2016.3.22修正	
22A4113	ペータフェニルエチ ルアルコール(別名: フェネチルアルコール)	60-12-8	特定標的臓器毒 性(単回暴露)	区分2(肝 臓、腎臓)、 区分3(麻 酔作用)	健康有害 性 感嘆符	警告	H371: 臓器の障害 のおそれ(肝臓、腎 臓) H336: 眠気又はめ まいのおそれ(麻酔 作用)	P309+P311: 暴露 したとき、又は気分 が悪いとき、医師に 連絡すること。 P260: 粉じん/煙 /ガス/ミスト/蒸 気/スプレーを吸 入しないこと。 P264: 取扱後 は、よく洗うこ と。 P270: この製品を 使用するとき、飲 食又は喫煙をしない こと。 P405: 施設して保 管すること。 P501: 内容物/容 器を、...に廃棄す ること。 P304+P340: 吸入 した場合: 空気の新鮮 な場所に移し、呼 吸しやすい姿勢 で休息させること。 P403+P233: 換気 の良い場所で保管 すること。容器を密 閉しておくこと。 P261: 粉じん/煙 /ガス/ミスト/蒸 気/スプレーの吸 入を避けること。	ラットの急性経口毒性試験(LD50値は650-1430 mg/kg)において、肝臓および腎臓の変性が観察さ れ、肝臓では、充血および軽度の脂肪変化、一方、 腎臓では、髄質で尿細管壊死、皮質で尿細管細胞 の混濁腫脹と円柱形成が認められた。LD50値から ガイドランス区分2に相当する用量での所見であること から、区分2(肝臓、腎臓)とした。また、マウスの急 性経口試験では、1~2 mg/kgの用量で1~5分以内 にほとんどの動物に麻酔が生じたことから区分3(麻 酔作用)とした。	区分2(肝 臓、腎臓)、 区分3(麻 酔作用)	健康有害 性 感嘆符	警告	H371: 臓器の障害 のおそれ(肝臓、腎 臓) H336: 眠気又はめ まいのおそれ(麻酔 作用)	P309+P311: 暴露 したとき、又は気分 が悪いとき、医師に 連絡すること。 P260: 粉じん/煙 /ガス/ミスト/蒸 気/スプレーを吸 入しないこと。 P264: 取扱後 は、よく洗うこ と。 P270: この製品を 使用するとき、飲 食又は喫煙をしない こと。 P405: 施設して保 管すること。 P501: 内容物/容 器を、...に廃棄す ること。 P304+P340: 吸入 した場合: 空気の新鮮 な場所に移し、呼 吸しやすい姿勢 で休息させること。 P403+P233: 換気 の良い場所で保管 すること。容器を密 閉しておくこと。 P261: 粉じん/煙 /ガス/ミスト/蒸 気/スプレーの吸 入を避けること。	ラットの急性経口毒性試験(LD50値は650-1430 mg/kg)において、肝臓および腎臓の変性が観察さ れ、肝臓では、充血および軽度の脂肪変化、一方、 腎臓では、髄質で尿細管壊死、皮質で尿細管細胞 の混濁腫脹と円柱形成が認められた(UUCLID (2000))。LD50値からガイドランス区分2に相当する用 量での所見であることから、区分2(肝臓、腎臓)とし た。また、マウスの急性経口試験では、1~2 mg/kg の用量で1~5分以内にほとんどの動物に麻酔が生 じた(UUCLID (2000))ことから区分3(麻酔作用)とし た。	2016.3.22修正	
22A4118	ローダミンB	81-88-9	水生環境有害性 (急性)	区分3	-	-	H402: 水生生物に 有害	P273: 環境への放 出を避けること。 P501: 内容物/容 器を、...に廃棄す ること。	甲殻類(オオミジンコ)の48時間LC50 = 22.9 mg/L (AQUIRE, 2011)から区分3とした。	区分3	-	-	-	H402: 水生生物に 有害	P273: 環境への放 出を避けること。 P501: 内容物/容 器を、...に廃棄す ること。	甲殻類(オオミジンコ)の48時間LC50 = 22.9 mg/L (AQUIRE, 2011)から区分3とした。	2016.3.22修正
22A4119	トリエチルホスフェート	78-40-0	生殖細胞変異原 性	区分外	-	-	-	-	2系統のマウスを用いた腹腔内投与による優性致死 試験(生殖細胞in vivo 経世代変異原性試験)で両系 統とも陰性(BUA 37(1989))、マウスの腹腔内投与 による精原細胞を用いた染色体異常試験(生殖細胞 in vivo 変異原性試験)で陰性(BUA 37(1989))、お よびマウスの骨髄細胞を用いた染色体異常試験(体 細胞in vivo 変異原性試験)で陰性(SIDS(Access on Nov. 2010))の結果に基づき、区分外とした。なお、 in vitro試験として、エームス試験で陰性(NTP DB (1982))、V79細胞を用いたHPRT試験で陰性の結 果が報告されている。	区分外	-	-	-	-	2系統のマウスを用いた腹腔内投与による優性致死 試験(生殖細胞in vivo 経世代変異原性試験)で両系 統とも陰性(BUA 37(1989))、マウスの腹腔内投与 による精原細胞を用いた染色体異常試験(生殖細胞 in vivo 変異原性試験)で陰性(BUA 37(1989))、お よびマウスの骨髄細胞を用いた染色体異常試験(体 細胞in vivo 変異原性試験)で陰性(SIDS(Access on Nov. 2010))の結果に基づき、区分外とした。なお、 in vitro試験として、エームス試験で陰性(NTP DB (1982))、V79細胞を用いたHPRT試験で陰性の結 果が報告されている。	2016.3.22修正	
22A4121	アクリル酸2-メキシ エチル	3121-61-7	生殖細胞変異原 性	分類でき ない	-	-	-	-	in vivo試験のデータがなく分類できない。なお、in vitro試験では、Ames試験で陰性(NTP DB (Access on Nov. 2010))の報告がある。	分類でき ない	-	-	-	-	in vivo試験のデータがなく分類できない。なお、in vitro試験では、Ames試験で陰性(NTP DB(Access on Nov. 2010))の報告がある。	2016.3.22修正	

22A4132	アルミニウムトリセカンダリブトキシド	2269-22-9	生殖毒性	分類できない	-	-	-	-	データなし。当該物質は容易に加水分解を受け、水酸化アルミニウム及び2-ブタノールを生じる(Ulmanns(E) (6th, 2003))。なお、水酸化アルミニウムに関しては、マウスの妊娠期間中の経口投与(66.5/260mg/kg/day)により、母獣、 <b>胎児及び出生仔に</b> 毒性及び奇形は認められなかったとの報告、マウスの妊娠期間中の経口投与(57.5mg/kg/day)により、 <b>毒性は認められなかったとの報告</b> 、ラットの妊娠期間中の経口投与(384mg/kg/day)により、 <b>出生仔の体重減少及び骨の変化の増加が認められたとの報告</b> 、ラットの妊娠期間中の経口投与(192/768mg/kg)により、NOEL: 768 mg/kg/dayが報告されている(以上JECFA FAS 58(2007))。また、2-ブタノールの既存分類では、「ラットでの飲水投与による2世代繁殖試験では生殖能には影響なく、最小限の影響(出生児の発育遅延)のみが認められた。一方、ラットの妊娠期間に吸入ばく露した試験では、母獣毒性がみられる用量で生存仔の減少及び吸収胚の増加が認められた(PATTY(4th, 1994)、ACGIH(2001))。生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。区分2。」となっている。	分類できない	-	-	-	-	データなし。当該物質は容易に加水分解を受け、水酸化アルミニウム及び2-ブタノールを生じる(Ulmanns(E) (6th, 2003))。なお、水酸化アルミニウムに関しては、マウスの妊娠期間中の経口投与(66.5/260mg/kg/day)により、母獣、 <b>胎児及び出生仔に</b> 毒性及び奇形は認められなかったとの報告、マウスの妊娠期間中の経口投与(57.5mg/kg/day)により、 <b>毒性は認められなかったとの報告</b> 、ラットの妊娠期間中の経口投与(384mg/kg/day)により、 <b>出生仔の体重減少及び骨の変化の増加が認められたとの報告</b> 、ラットの妊娠期間中の経口投与(192/768mg/kg)により、NOEL: 768 mg/kg/dayが報告されている(以上JECFA FAS 58(2007))。また、2-ブタノールの既存分類では、「ラットでの飲水投与による2世代繁殖試験では生殖能には影響なく、最小限の影響(出生児の発育遅延)のみが認められた。一方、ラットの妊娠期間に吸入ばく露した試験では、母獣毒性がみられる用量で生存仔の減少及び吸収胚の増加が認められた(PATTY(4th, 1994)、ACGIH(2001))。生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。区分2。」となっている。	2016.3.22修正
22A4144	2-エチルヘキサン-1,3-ジオール(別名: オクタンジオール)	94-96-2	特定標的臓器毒性(反復暴露)	分類できない	-	-	-	-	データ不足により分類できない。なお、ラットを用いた30日間混餌投与試験における影響は700 mg/kg/dayでの体重増加抑制のみで、病理組織学的検査は未実施であり、2年間の混餌投与試験では、4%(2000 mg/kg/day)以下の用量で投与に関連した臓器障害は認められなかった(DFGMAK-Doc. 5(1993))と報告されている。また、ウサギに1880 mg/kg/dayまたは <b>3670 mg/kg/day</b> を90日間経皮投与した試験では、半数の動物が死亡し、肝臓と腎臓に障害が認められたとの記載はあるが、詳細は不明で病理組織学的所見もない(DFGMAK-Doc. 5(1993))。	分類できない	-	-	-	-	データ不足により分類できない。なお、ラットを用いた30日間混餌投与試験における影響は700 mg/kg/dayでの体重増加抑制のみで、病理組織学的検査は未実施であり、2年間の混餌投与試験では、4%(2000 mg/kg/day)以下の用量で投与に関連した臓器障害は認められなかった(DFGMAK-Doc. 5(1993))と報告されている。また、ウサギに1880 mg/kg/dayまたは <b>3670 mg/kg/day</b> を90日間経皮投与した試験では、半数の動物が死亡し、肝臓と腎臓に障害が認められたとの記載はあるが、詳細は不明で病理組織学的所見もない(DFGMAK-Doc. 5(1993))。	2016.3.22修正
22A4155	ジピニルスルホン	77-77-0	自己反応性化学品	分類できない	-	-	-	-	自己反応性に関わる原子団(不飽和結合)および(S=O)を含むがデータがなく分類できない。なお、保存中 <b>徐々に</b> 重合する(有機化合物辞典(1985))という情報がある。	分類できない	-	-	-	-	自己反応性に関わる原子団(不飽和結合)および(S=O)を含むがデータがなく分類できない。なお、保存中 <b>徐々に</b> 重合する(有機化合物辞典(1985))という情報がある。	2016.3.22修正
22A4159	テオグリコール酸 2-エチルヘキシル	7659-86-1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外	-	-	-	-	ウサギ3匹を用いた眼刺激性試験(OECD TG404、GLP準拠)において、刺激性の最大平均スコア(Modified Maximum Average Score)は0/110(ECETOC TR 48(1998))であり、眼に反応を認めず、刺激性なし(not irritating)との結果(IUCLID(2000))に基づき、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	ウサギ3匹を用いた眼刺激性試験(OECD TG404、GLP準拠)において、刺激性の最大平均スコア(Modified Maximum Average Score)は0/110(ECETOC TR 48(1998))であり、眼に反応を認めず、刺激性なし(not irritating)との結果(IUCLID(2000))に基づき、区分外とした。	2016.3.22修正
22A4163	乳酸メチル	547-64-8	水生環境有害性(急性)	区分外	-	-	-	-	甲殻類(ミジンコ)による48時間 EC50 = <b>748 mg/L</b> (AQUIRE, 2011)であることから、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	甲殻類(ミジンコ)による48時間 EC50 = <b>749 mg/L</b> (AQUIRE, 2011)であることから、区分外とした。	2016.3.22修正
22A4170	マレイン酸ジメチルエステル	624-48-6	特定標的臓器毒性(単回暴露)	分類できない	-	-	-	-	ラットに <b>0.5g</b> または <b>2g</b> を経皮投与により、死亡は元より全身影響も何ら認められなかった(PATTY(5th, 2001))との結果から、経皮経路では区分外相当であるが、他経路(経口、吸入)についてのデータがないので、特定標的臓器毒性(単回暴露)の分類としては「分類できない」とした。	分類できない	-	-	-	-	ラットに <b>0.5g</b> または <b>2g</b> を経皮投与により、死亡は元より全身影響も何ら認められなかった(PATTY(5th, 2001))との結果から、経皮経路では区分外相当であるが、他経路(経口、吸入)についてのデータがないので、特定標的臓器毒性(単回暴露)の分類としては「分類できない」とした。	2016.3.22修正
22A4171	ジシアノメタン(別名: マロノニトリル)	109-77-3	水生環境有害性(急性)	区分1	環境	警告	H400: 水生生物に非常に強い毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P391: 漏出物を回収すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	魚類(ファントヘッドミノー)による96時間 LC50 = <b>0.52 mg/L</b> であることから(HSDB, 2003)、区分1とした。	区分1	環境	警告	H400: 水生生物に非常に強い毒性	P273: 環境への放出を避けること。 P391: 漏出物を回収すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	魚類(ファントヘッドミノー)による96時間 LC50 = <b>0.56 mg/L</b> であることから(HSDB, 2003)、区分1とした。	2016.3.22修正
22A4174	無水酢酸	106-31-0	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2(肺)	健康有害性	警告	H371: 臓器の障害のおそれ(肺)	P309+P311: 暴露したとき、又は気分が悪いとき: 医師に連絡すること。 P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P284: 取扱後は...よく洗うこと。 P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P405: 施設して保管すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	本物質自身のデータはないが、ノルマル酢酸のウサギの吸入暴露試験(エアロゾル)で、区分2のガイダンス値を超えた40mg/L/1.5h(4時間換算値)15mg/L/4h)の用量で <b>気管支炎</b> 、肺気腫の兆候が見られた(PATTY(5th, 2001))との報告はあるが、他のウサギの吸入試験(区分1のガイダンス値範囲内の0.4mg/L/1.4h(4時間換算値)0.24mg/L)の用量で肺のうっ血、浮腫、無気腫、肺水腫が見られた(IUCLID(2000))の報告があり、区分1(肺)に相当するが、リスト2のデータであることから区分2(肺)とした。	区分2(肺)	健康有害性	警告	H371: 臓器の障害のおそれ(肺)	P309+P311: 暴露したとき、又は気分が悪いとき: 医師に連絡すること。 P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P284: 取扱後は...よく洗うこと。 P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P405: 施設して保管すること。 P501: 内容物/容器を...に廃棄すること。	本物質自身のデータはないが、ノルマル酢酸のウサギの吸入暴露試験(エアロゾル)で、区分2のガイダンス値を超えた40mg/L/1.5h(4時間換算値)15mg/L/4h)の用量で <b>気管支の拡張</b> 、肺気腫の兆候が見られた(PATTY(5th, 2001))との報告はあるが、他のウサギの吸入試験(区分1のガイダンス値範囲内の0.4mg/L/1.4h(4時間換算値)0.24mg/L)の用量で肺のうっ血、浮腫、無気腫、肺水腫が見られた(IUCLID(2000))の報告があり、区分1(肺)に相当するが、リスト2のデータであることから区分2(肺)とした。	2016.3.22修正



22A4174	無水酢酸	106-31-0	水生環境有害性(急性)	区分3	-	-	H402:水生生物に有害	P273:環境への放出を避けること。 P501:内容物/容器を...に廃棄すること。	本物質は水中で速やかに加水分解してn-酪酸(CAS No. 107-92-6)となる(水中での半減期 = 1.679分(pH = 8)、16.789分(pH = 7)(HYDROWIN))。無水イソ酪酸のデータは無いが、イソ酪酸の薬類(セネデス)の72時間EC50 = 45 mg/L(無水イソ酪酸換算 = 39.9 mg/L)(IUCLID, 2000)であることから、区分3とした。	区分3	-	-	H402:水生生物に有害	P273:環境への放出を避けること。 P501:内容物/容器を...に廃棄すること。	本物質は水中で速やかに加水分解してn-酪酸(CAS No. 107-92-6)となる(水中での半減期 = 1.679分(pH = 8)、16.789分(pH = 7)(HYDROWIN))。無水酪酸のデータは無いが、n-酪酸の薬類(セネデス)の72時間EC50 = 46.7 mg/L(IUCLID, 2000)無水酪酸換算 = 26 mg/L)であることから、区分3とした。	2016.3.22修正
22A4176	ターシャリーブチルオキシベンゾアート	614-45-9	皮膚感受性	分類できない	-	-	-	-	データ不足。なお、皮膚感受性試験として、試験法など詳細は不明であるがラットで刺激性なし(not an irritant)との報告(PATTY(5th, 2001))がある。	分類できない	-	-	-	-	データ不足。なお、皮膚感受性試験として、試験法など詳細は不明であるがラットで感受性なし(not sensitizer)との報告(PATTY(5th, 2001))がある。	2016.3.22修正
22A4178	パラ-アミノ安息香酸エチルエステル	94-09-7	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1(血液)	健康有害性	危険	H372:長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害(血液)	P260:粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264:取扱後は...よく洗うこと。 P270:この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P314:気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 P501:内容物/容器を...に廃棄すること。	本剤の医薬品添付文書には内服した場合の副作用として血液(メトヘモグロビン血症)が記載されている(医療用医薬品集(2010)、HSDB(2005))ことに基づき区分1(血液)とした。	区分1(血液)	健康有害性	危険	H372:長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害(血液)	P260:粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P264:取扱後は...よく洗うこと。 P270:この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P314:気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 P501:内容物/容器を...に廃棄すること。	本剤の医薬品添付文書には内服した場合の副作用として血液(メトヘモグロビン血症)が記載されている(医療用医薬品集(財団法人 日本医薬品情報センター)(2010)、HSDB(2005))ことに基づき区分1(血液)とした。	2016.3.22修正
22A4179	オルト-アミノフェノール	95-55-6	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2(血液)	健康有害性	警告	H373:長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ(血液)	P260:粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P314:気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 P501:内容物/容器を...に廃棄すること。	o-アミノフェノールの吸入による過剰ばく露はメトヘモグロビン血症を起こす可能性がある(PATTY(5th, 2001))。また、アミノフェノールは酸素運搬能を低下(メトヘモグロビン血症)を起こす(SITTIG(5th, 2008))との記載がある。以上の情報に加え、ラットに1ヵ月間にわたりガイドランス値区分2に相当する130 mg/kg/day(90日換算:43.3 mg/kg/day)を経口投与した試験で、末梢血の変化として赤血球数の減少とメトヘモグロビン濃度の増加が認められた(Journal of The American College of Toxicology, vol.7, p 279-333(1988))ことに基づき区分2(血液)とした。	区分2(血液)	健康有害性	警告	H373:長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ(血液)	P260:粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P314:気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 P501:内容物/容器を...に廃棄すること。	o-アミノフェノールの吸入による過剰ばく露はメトヘモグロビン血症を起こす可能性がある(PATTY(4th, 2001))。また、アミノフェノールは酸素運搬能を低下(メトヘモグロビン血症)を起こす(SITTIG(5th, 2008))との記載がある。以上の情報に加え、ラットに1ヵ月間にわたりガイドランス値区分2に相当する130 mg/kg/day(90日換算:43.3 mg/kg/day)を経口投与した試験で、末梢血の変化として赤血球数の減少とメトヘモグロビン濃度の増加が認められた(Journal of The American College of Toxicology, vol.7, p 279-333(1988))ことに基づき区分2(血液)とした。	2016.3.22修正
22A4194	メチルエンドメチレンテトラヒドロフタル酸無水物	25134-21-8	水生環境有害性(急性)	区分外	-	-	-	-	魚類(ファットヘッドミノー)による96時間LC50 = 210 mg/L(AQUIRE, 2011)であることから、区分外とした。	分類できない	-	-	-	-	データなし	2016.3.22修正
22A4194	メチルエンドメチレンテトラヒドロフタル酸無水物	25134-21-8	水生環境有害性(長期間)	区分外	-	-	-	-	急性毒性区分外であり、難水溶性でない(水溶解度 = 653 mg/L(PHYSPROP Database, 2011))ことから、区分外とした。	分類できない	-	-	-	-	データなし	2016.3.22修正
22A4203	1,3-ジクロロプロパン	142-28-9	水生環境有害性(急性)	区分3	-	-	H402:水生生物に有害	P273:環境への放出を避けること。 P501:内容物/容器を...に廃棄すること。	甲殻類(オオミジンコ)の96時間LC50 = 39 mg/L(ECETOC TR91, 2003)から区分3とした。	区分3	-	-	H402:水生生物に有害	P273:環境への放出を避けること。 P501:内容物/容器を...に廃棄すること。	甲殻類(オオミジンコ)の24時間LC50 = 39 mg/L(ECETOC TR91, 2003)から区分3とした。	2016.3.22修正
22B4513	1,3-ジクロロプロペン	542-75-6	水生環境有害性(急性)	区分1	環境	警告	H400:水生生物に非常に強い毒性	P273:環境への放出を避けること。 P391:漏出物を回収すること。 P501:内容物/容器を...に廃棄すること。	甲殻類(オオミジンコ)での48時間EC50=0.09mg/L(EHC 146, 1993, 他)であることから、区分1とした。	区分1	環境	警告	H400:水生生物に非常に強い毒性	P273:環境への放出を避けること。 P391:漏出物を回収すること。 P501:内容物/容器を...に廃棄すること。	甲殻類(オオミジンコ)での48時間LC50=0.09mg/L(EHC 146, 1993, 他)であることから、区分1とした。	2016.3.22修正
22B4520	ターシャリーブタノール	75-65-0	水生環境有害性(急性)	区分外	-	-	-	-	魚類(ファットヘッドミノー)での96時間LC50=6410mg/L(有害性評価書, 2007)、甲殻類(オオミジンコ)での48時間EC50=5504mg/L(有害性評価書, 2007)、藻類(セネデス)での72時間ErC50>1000mg/L(有害性評価書, 2007)であることから、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	魚類(ファットヘッドミノー)での96時間LC50=6410mg/L(有害性評価書, 2007)、甲殻類(オオミジンコ)での48時間EC50=5504mg/L(有害性評価書, 2007)、藻類(セネデス)での72時間ErC50>1000mg/L(有害性評価書, 2007)であることから、区分外とした。	2016.3.22修正
22B4521	硝酸カリウム	7757-79-1	水生環境有害性(長期間)	区分外	-	-	-	-	難水溶性でなく(水溶解度=357000mL(SIDS, 2008))、急性毒性が低いことから、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	難水溶性でなく(水溶解度=357000mg/L(SIDS, 2008))、急性毒性が低いことから、区分外とした。	2016.3.22修正
22B4524	硝酸カルシウム	10124-37-5	水生環境有害性(急性)	区分外	-	-	-	-	魚類(ブルーギル)での96時間LC50=2400(AQUIRE, 2010)であることから、区分外とした。	区分外	-	-	-	-	魚類(ブルーギル)での96時間LC50=2400 mg/L(AQUIRE, 2010)であることから、区分外とした。	2016.3.22修正